

# MS科 数学20班

## 子育てはどこでするのが1番お得？

班員 山口凜子 榎本寿理 菊池悠真

指導者 早田知樹先生 小川敬弘先生

### 研究の動機

私達は大学進学を目指している中、大学無償化のニュースを受け子供の人数を考えなかったとき場所や場合によって大学卒業までの子育てに金額の差ができるのではないかと考えたから。

### 研究の目的

場所によっての子育てにかかる金額の差を知る。親への負担を再認識し、学習に対する姿勢を見直す。

### 先行研究

1人当たりの子育てに必要な額は3000～4000万円(内閣府の調査より)  
15歳まで育てるのに最も費用がかかるのは東京23区  
地方との差は600万円

### 研究方法

- ①どのような区分にするか、また区分ごとのパターンを決める
- ②区分やパターンごとの定義付けをする
- ③パターンごとの大学卒業までの費用を出す
- ④総合的にどの区分やパターンが一番お得かを考える

### 必要な道具

- ・パソコン

### 仮説

都会に住んだ方が田舎などの地域に比べて働いて得られる平均年収が多いことや交通の便が良いことから都会である区分ほうがお得にできるのではないか。

また、都会に住んでいて地元の国公立大学に行くパターンが一番お得なのではないか。

### 研究計画

4～5月	•どのような区分やパターンにするかを考え、定義づけをする
6～10月	•パターン別に子育てにかかる費用を調べる
11～12月	•総合してどの区分やパターンがお得になるかを考える •ポスター作成

